



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2003. 3月号

第6回 公募写真展



会場：特別展示室

会期：3月1日（土）～4月20日（日）

・月曜日休館

・金曜日は午後7時まで開館（入場は6時半まで）

博物館では、1976年の開館以来、相模川流域の自然と文化をテーマに活動を積み重ねてきました。その一環として、定期的に公募写真展を催し、市民の方々から流域の今と昔の姿を納めた画像を寄せて頂いてきました。6回目にあたる今回は新たにデジタル部門を設け、デジタルカメラの普及にも対応するようにしました。また、昨年、平塚市の市民の鳥として「しらさぎ」が選ばれたのを記念して、特にしらさぎ部門を設けました。その結果、55名の方々から、過去最高の合計313点にのぼる多くの作品を応募して頂くことができました。

この特別展では、審査の結果選ばれた優秀賞10点、入選20点の作品をご紹介します。全応募作品についても、整理カードの形で展示しますので、ぜひご覧ください。また、審査員を務めて頂いた吉田嗣郎氏から、特別出品として「しし座流星群」の写真が提供されました。

その他に、過去の受賞作品の中から、「野鳥を写す」「富士を写す」「星を写す」「暮らしの中の笑顔」「時代を語る写真」の5テーマで、約20点を展示します。

平塚山岳協会 50周年記念展

戦後の混乱からようやく立ち直り、山へ情熱を向ける余裕がでてくると平塚でも山のクラブや団体がいくつか設立されました。それに伴って山岳協会を組織しようという声も起こってきました。昭和27年(1952)、峯溪俱樂部が中心となって各方面に働きかけて発足の準備を進めました。翌年2月28日、見附台公会堂において結成式と記念映画会が開催され、ここに平塚山岳協会が誕生しました。

初代会長には、柿沢篤太郎平塚市長が就任しました。同時に平塚市体育協会にも加盟しています。さらに、神奈川県スキー山岳連盟(昭和29年から神奈川県山岳連盟)にも属することになり、(同年には大山、西丹沢に道標を設置する仕事も任されました。設立当時の加盟団体は、新日国山岳部(現日産車体山岳部)、平塚農業高校山岳部、達上山岳会、平塚工業高校山岳部、峯溪俱樂部の5団体で会員数は125名、さらに丹南俱樂部(現平塚山岳会)、復興山岳会が同年中に入会したことにより7団体・156名となりました。

初期の協会では特徴的なのが、「夜も山会」の存在です。「夜も山会」は、昼間登るだけでは物足りない者たちが集った親睦会でした。ここでは、山行の計画やら報告などが大いに語られたということです。

この「夜も山会」には、日本近代登山のパイオニアである岡野金次郎を招いたこともありました。岡野金次郎は、小島鳥水との槍ヶ岳登頂やウォルター・ウエストーンと出会ったことなどによって日本の登山史にその名をとどめている人です。彼が晩年平塚に住んだことで、協会とも縁ができました。彼との交流は昭和30年から、昭和33年に彼が不慮の事故で亡くなるまで続いたということです。今、彼の記念碑(昭和36年建碑)が湘南平にあります。

こうして産声をあげた協会は、5年をひとつの節目として記念行事を行っています。5周年と10周年は、記念講演と映画会を開催しました。15周年は、北海道日高山脈縦走を敢行、残雪期のサポート無しでの縦走は日本初でした。次の20周年には夏の北アルプスの涸沢で合同合宿を張りました。25周年は、創立当時ホーム

グラウンドとしてもっとも親しんだ丹沢を見直すべく丹沢の研究を行い、つづく30周年には、郷土の山をよりじっくり理解しようということで、神奈川の百名山にのぞみました。さらに35周年には、丹沢から神奈川へと続いた活動を関東の山々へと広げました。そのあとの40周年は、再び団体の垣根を越えた山行をということで、北アルプスの剣沢で合同合宿を実施、第53回国体神奈川大会と重なった45周年は、特に記念行事を行わずに秋の集中登山で記念撮影をしました。そして50周年となった昨年は、丹沢50山リレー登山と大室山合同登山を行っています。

この間、会長は内田又二2代目会長、小林長治3代目会長へと引き継がれました。

協会は50年の活動の中で、国民体育大会とも関わってきました。選手を派遣したこともありましたが、2度にわたる神奈川大会では、役員のパシや大会準備に大いに協力しました。昭和30年の第10回大会で協会は塔ヶ岳本部の設営という仕事を任されました。平成10年の第53回大会でも、設営を担当しています。毎年恒例となっている平塚市教育委員会との共催による市民ハイクは、昭和28年春に行われた高麗山・大磯丘陵縦走からはじまります。回を重ねるごとに市民の間に定着していき、昭和43年からは宿泊を挟んでの事業となったので、少し遠くの山々へ活動範囲も広がっていきました。

また、参加者からの希望もあって、昭和48年からは協会主催による秋の登山も実施しています。市民の人たちに山の楽しさを紹介すると共に、安全登山の普及に努めています。

はじめ7団体で発足した協会は、50年間でいろいろと変遷はあったものの、現在は次の6団体で活動しています。

峯溪俱樂部(昭和25年)、日産車体山岳部(昭和26年)、平塚山岳会(昭和28年)、やまびこクラブ(昭和31年)、平塚登高会(昭和37年)、小松製作所ワンダーフォーゲル部(昭和45年)

()は創部年

2月1日～11日 第4回博物館まつり

盛況のうちに幕をとじました



圧倒的迫力の民俗探訪会の展示



年々、内容が濃くなる発表会



特別展示室いっぱい熱気がみなぎる



甘酒が大人気

2月7日 アクアマリン星空音楽館コンサート プラネタリウムの星とコスミックサウンドのコラボレーション、熱唱ライブでした



2月15日 体験学習「天体望遠鏡をつくろう！」

5歳から75歳まで、23名の参加者が月にマイ望遠鏡を向けました



博物館カレンダー

2003年3月の行事

3	1	土	☆ ☆	春期特別展「公募写真展」(～4月20日) 寄贈品コーナー「平塚市山岳協会50周年展」(～3月30日)	特展室 展示室
3	2	日		民俗探訪会「今年度のまとめ」	講堂
3	5	水		民俗探訪会調査会「民間信仰調査」	野外
3	6	木		展示解説ボランティアの会	特研室
3	7	金		古文書講読会	講堂
3	8	土	◎ ◎	漂着物を拾う会 星を見る会「月と木星・土星」 天体観察会	虹ヶ浜 屋上 科学室
3	9	日		地質調査会「調査のまとめ」	科学室
3	13	木		石仏を調べる会	特研室
3	14	金		古文書講読会 太ざおコンサート	講堂
3	16	日	◎ ○	ろばたばなし 古代遺跡を探す会 水辺の楽校生きもの調べの会 体験学習「竹かごを作ろう」	展示室 相模原 相模川 科学室
3	19	水		裏打ちの会 民俗探訪会調査会「民間信仰調査」 プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	科学室 野外 プラネ
3	20	木		展示解説ボランティアの会	特研室
3	22	土		平塚の空襲と戦災を記録する会 天体観察会「まとめ」	特研室 科学室
3	23	日		相模川の生き立ちを探る会「嶺岡帯の地質2」	房総
3	27	木		石仏を調べる会	特研室
3	28	金		古文書講読会	講堂
3	29	土		地質調査会	野外

2003年4月の行事

4	1	火	☆ ☆	春期特別展「第6回公募写真展」(～4月20日) 寄贈品コーナー「人文新資料」(～4月29日)	特展室 展示室
4	3	木		展示解説ボランティアの会	特研室
4	4	金		古文書講読会	講堂
4	6	日		古代遺跡を探す会	野外
4	10	木		湘南コケの会	講堂・野外
4	11	金		古文書講読会	講堂
4	12	土	☆ ◎	プラネタリウム「宇宙への道」(～6月8日) 漂着物を拾う会 地質調査会	プラネ 虹ヶ浜 清川村
4	13	日		民俗探訪会「与瀬神社祭礼」	相模湖町
4	16	水		裏打ちの会 平塚社寺調査会	科学室 特研室・市内
4	17	木		展示解説ボランティアの会	特研室
4	18	金	◎	古文書講読会 星を見る会	講堂 屋上
4	19	土		民具に親しむ会	科学室
4	19	土	○	みんなで調べよう「タンポポ調べ」	講堂
4	20	日	◎	ろばた話の会 相模川の生き立ちを探る会	展示室 科学室
4	24	木		石仏を調べる会	特研室・市内
4	25	金		古文書講読会	講堂
4	26	土		空襲と戦災を記録する会 地質調査会 天体観察会	特研室 科学室 屋上
4	27	日	○	体験学習「家紋凧を作ろう」 水辺の楽校生きもの調べの会	科学室 相模川

☆：展示(無料)・プラネタリウム(観覧料) ○：申込制
◎：自由参加 無印：年間会員制

<展示とプラネタリウム>

春期特別展「第6回公募写真展」
相模川流域の自然と文化をテーマにした公募写真から優秀10点、入選20点の入選作品を中心に展示します。
会期：3月1日(土)～4月20日(日)
会場：特別展示室

寄贈品コーナー「平塚山岳協会50周年展」
会期：3月1日(土)～3月30日(日)

☆プラネタリウム「日本・中国の星座」
暦を作るために発達した中国の天文学は、独特の星座を生み出しました。日本の星の呼び名とともに紹介します。
期間：2月8日(土)～4月6日(日)
投影日：土日曜日の11時と14時

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会
海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えたりします。
日時：3月8日(土)9時30分～11時
場所：平塚虹ヶ浜海岸
参加：自由(初めての方は往復はがきで申し込むこと)

◎星を見る会「月と木星・土星」
春の星座と、望遠鏡で月、木星、土星を見ます。
3月8日(土)19時～20時30分
参加自由、当日博物館科学教室にお集まりください。

◎ろばたばなし
民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。
3月16日(日)(1)13時20分～(2)15時～
場所：展示室民家 参加：自由

○体験学習「竹かごを作ろう」
メカゴというかごを作ります。
3月16日(日)9時30分から12時
博物館 科学教室
定員 20名
申し込み 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、3月8日までに申し込む。



平塚山岳協会50周年記念エンブレム

この印刷物には古紙率100%の再生紙を使用しています。

あなたと博物館 29巻 12号 通算315号 発行 平塚市博物館 2500
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>